

創ろう、共生社会！

めざそう、持続可能な未来を  
かわごえ誠一オフィシャルサイト  
www.kawagoeseiichi.com

葛飾区議会議員 **かわごえ誠一**

2026年8月8日発行

第 127 号

発行：かつしか区民連合

# 葛飾区議会レポート

## ◆区政トピックス◆

### ■「民泊条例」＝「住宅宿泊事業の適正な運営の確保に関する条例」施行

◆増加する民泊を規制するため、令和8年4月に条例が施行され、事業者等の責務、実施の制限、苦情への対応などが定められました。◆施行に伴い、民泊等の相談ダイヤルが開設されました。

●葛飾区民泊・旅館業制度直通ダイヤル03-6662-6570（平日8:30～17:00）

### ■ヤングケアラー相談専用電話開設

◆6月1日より「子ども総合センター」内にヤングケアラー相談専用電話を設置

●対象：区内在住 18才未満の子ども 03-3602-1360（月～土8:30～17:00）

### ■マイナンバーカードセンター設置へ

◆マイナンバーカードの交付の増加や、緊急性のある事案に対応するためにマイナンバーカードセンター設置に向けての検討が報告され、令和8年度中の設置を目指し準備が進められます。

### ■学童保育クラブ待機児童緊急対策

◆令和8年度の学童保育待機児童が398名と公表されました。◆夏休みの子どもの生活を守るため、公立・私立による夏季一時学童保育、公立児童館職員による出張夏季学童保育など緊急対策が実施されます。◆学童保育のニーズに対応するため今後も抜本的解決を求めています。

【御報告】◆日頃よりかわごえ誠一の活動にご理解ご協力を賜り心から感謝申し上げます。◆この度、かわごえ誠一は立憲民主党を離党し、会派「かつしか区民連合」に合流することになりました。◆政治に関わる以前から様々な活動に関わり、市民活動を実現できる政党と信じて当時の民主党に飛び込んでから16年余りが経ちました。◆この間所属した政党が幾度も看板を架け替えてきましたが、自分の立ち位置は変わらず活動を進めてきたつもりです。◆今回、改めて原点に立ち返り、葛飾区の地域の課題に向かい、誰一人取り残さない社会を実現するために、今まで以上に地域密着の活動を進めてまいります。◆今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

※公職選挙法により、議員からの区内有権者への会合などへの会費以外の金品の寄附行為などは禁止されています。



## 葛飾区議会議員 かわごえ誠一

### かわごえ誠一 プロフィール

●1963年3月川崎市生れ ●立石在住38年 ●防災士  
●葛飾区ボッチャ協会会長 ●学童保育増設運動、小中PTA、子育てネットワーク、図書館友の会、三番瀬保全活動などに参加 ●都議秘書を経て2013年区議初当選  
●2025年11月に4期目当選 ●区議会所属：議会運営委員会・建設環境委員会・危機管理対策特別委員会

葛飾区議会議員 **かわごえ誠一** 参加費無料 定員先着 70 名 **2026**

手話通訳あり

※事前に下記メールへご一報いただけますと幸いです。

# タウンミーティング・学習会

テーマ：静かに進む孤独・孤立 ～制度のはざまと社会のつながり再考～  
～若者から高齢者まで、誰にでも起こり得る「身寄りなし」問題～

と き：2026年 8月 28日（金）19:00～21:00 開場 18:45  
ところ：かつしかシンフォニーヒルズ別館5階 レインボー 葛飾区立石 6-33-1

## ■講演：いま、「身寄りなし」問題を考える ～このまちで、豊かに人生をしまうために～

講師：滝野 隆浩さん 毎日新聞客員編集委員・ライター

■地域で支え合う活動 オープンハウス金町の実践から 労働者協同組合ワーカーズコープ

■行政の谷間を埋める社会福祉協議会の取組み 葛飾区社会福祉協議会

■困りごとを受け止め、支援につなげる窓口 葛飾区くらしのまるごと相談課

◆身寄りのない孤立死が全国で2万2千人を越えるとの数字が内閣府から示されました。◆単身世帯が増え、高齢者のみでなく、若者世代でも孤立は無関係ではありません。◆これには、変わる家族の形態、社会の関係性の希薄化、医療・福祉や行政制度の狭間など様々な課題が絡み合っています。◆今回は現場で「身寄りなし問題」の取材を重ねてきた滝野さんから現状をうかがい、制度の課題や、社会の関係性の再構築など私たちにできることを考えたいと思います。

◎直接会場にお越しただいて構いませんが、会場準備の関係上メール等でご一報いただけますと幸いです。

◎発熱や咳など体調のすぐれない方は参加を見合わせていただければ幸いです。



### ■講師プロフィール

滝野 隆浩（たきの たかひろ）さん

◆1983年毎日新聞入社・社会部、「サンデー毎日」編集部などに在籍、前橋支局長、専門編集委員を歴任◆2025年3月定年退職◆現在、客員編集委員、ライター◆毎日新聞に、緩和ケア、ホスピスから葬儀、墓までの「周死期」をテーマにしたコラム「葬苔記」を連載中◆【著書】「宮崎勤精神鑑定書」「自衛隊指揮官」「自衛隊のリアル」「沈黙の自衛隊」「これからの『葬儀』の話をしよう」「世界を敵に回しても、命のために闘う」など多数

■ 連絡・問い合わせ先 ■ **かわごえ誠一** 090-2932-7315 《e-mail》info@kawagoeseiichi.com

Facebook **かわごえ誠一サポーターズクラブ** →



Instagram **かわごえ誠一** 日々の地域の活動など →







# 葛飾区議会議員 かわごえ誠一 葛飾区議会レポート

2026年8月8日 第127号

発行：かつしか区民連合

かわごえ誠一 Instagram →



Facebook かわごえ誠一サポーターズクラブ →



## ◆区政トピックス◆



避難所開設訓練にて

◆7月28日に熊本地方で震度7の地震が発生しました。被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。葛飾区でも大規模災害に備え訓練・備蓄等を進めていますが、更に災害対策を進めてまいります。  
◆集合住宅防災マニュアル「作成の手引き」公表  
◎マンション等の防災マニュアル作成支援を実施。  
◆消火器等購入支援事業開始◎首都直下地震等に備え家庭用消火器購入費助成・率1/2・上限5,000円



議会基本条例の視察に訪れた南城市役所にて

### ■議会基本条例の策定に向けて

◆先般区議会運営委員会理事会において議会基本条例策定に向けて検討の方向性が示されました。◆議会基本条例では議会の権能の明確化や、住民参加の促進などが定められます。◆これまで議会運営委員会で各地の議会基本条例の視察を重ね、議会改革が進められている状況を伺ってきました。◆葛飾区においても今後議論を重ね、より良い議会へ歩んでまいります。

## ■かわごえ誠一 第一回定例会質問概要



### 1：行政組織における専門人材をはじめとした人材確保と育成について

◆過去最大規模となった令和8年度当初予算では、物価高騰の影響や学校改築経費への起債など財政面の課題が指摘されています。先が見通せない社会で将来を見据えた行政運営をするためには人材の育成と組織改革が欠かせません。

**かわごえ** 本区の人材確保と育成の基本方針は？

**区長** 今後の行政需要への対応と退職補充を基本的方針とし、PRなど採用活動を充実する。

人材育成基本方針に基づき、研修・OJT・人事考課を実施。新たな職員行動指針を策定し、自律的に行動できる職員を育成する。

**かわごえ** 専門職（福祉・建築・土木・DX・文化等）の確保及び育成についてどのような戦略があるのか。

**総務部長** 行政需要の多様化などの一方、行政職員志望数減に伴い専門職の志望も減少している。採用対象年齢の拡大など多方面で採用を強化する。福祉職では独自の人材育成方針の策定、建築・土木はジョブローテーションで専門性の育成、DXでは調整能力を持つ事務職の育成の検討、文化分野は専門性の高い任期付職員の活用などで対応する。  
【その他】人材育成プログラム・民間交流による経験の蓄積について、定年延長と高齢期職員の活用について、組織見直しの考え方について

### 2：環境政策のさらなる推進について

◆世界的潮流はカーボンニュートラル、ネイチャーポジティブ、サーキュラーエコノミーの3つの柱が中心になっており、本区においてもそれらを前面に、民間活動と連携した推進体制の整備が急務です。

**かわごえ** 令和8年度が中間年になる地球温暖化対策実行計画の評価と2030年のカーボンハーフへの課題と認識についてうかがう。

**区長** 温室効果ガスは2013年度比約19%削減された。今後、区有施設への太陽光発電の設置や新築建築物のZEB化などを推進する。区内建築事業者と連携し高断熱住宅普及の取り組みを進める。令和8年度に実行計画見直しを実施し、2030年のカーボンハーフ達成を目指す。

**かわごえ** 区有施設最大のボリュームを有する学校施設への断熱改修については、大規模改修などに合わせ計画的に行うとともに、早急な酷暑対策を行うべきだ。

**環境部長** 断熱改修については、学校の内装改修と合わせて、効果的・効率的に取組み、脱炭素と教育環境の向上を進める。熱さ対策に熱の出入りが大きい窓にカーテンやロールスクリーンなどの導入を進める。

**かわごえ** 生物多様性保全のため、生息環境の記録や希少種の遺伝子などの基礎調査の実施、ネイチャーポジティブ推進のため官民連携で都市部の生物多様性保全の取り組みを積極的に進めるべきだ。

**環境部長** 生物多様性推進協議会などと連携し、生息環境や遺伝子調査など基礎調査を検討する。区民の参加を進め、関係機関と連携しネイチャーポジティブの理念の実現に向け、取り組みを推進する。

【その他】みどりと花のフェアのレガシー継承、特別区長会のごみ有料化発言への認識、サーキュラーエコノミー実現に向けてなど

### 3：誰一人取り残さない社会について

◆複合化した困難や、表面化していない課題の早期発見、状態が複雑化する前の支援への接続が課題です。孤独・孤立対策を踏まえ、公共・民間の枠を越えた幅広いネットワーク、包括的な体制整備が急務です。

**かわごえ** 重層的支援体制は相談支援、参加支援事業、地域づくり事業の3つの柱が示されているが、本区の現状と課題をうかがう。

**区長** ひきこもりなど社会的孤立を解消するための参加支援が重要だが、地域づくりの受け皿不足が課題だ。相談体制は見える化を進める。

**かわごえ** 困難を抱えた子どもへの支援は地域と密着した民間との連携が重要だ。児童育成支援拠点事業の構築についてうかがう。

**子育て支援部長** 困難を抱えた子どもの居場所についてはニーズが見込まれており、児童育成支援拠点事業を実施するNPO等への補助制度を創設し、居場所・学習支援・食事提供等を支援する。

**かわごえ** 保育園や学校への医療的ケア児の受け入れが進む中、学童保育での受け入れが未整備であり体制整備が必要だ。

**子育て支援部長** 専門的職員・施設面の課題があるが、早期の受入れをするため、公立学童での受入れを前提に検討PTを設置する。

**かわごえ** 増加傾向にある精神疾患はピアサポート支援が重要だ。

**健康部長** 精神疾患のピアサポートの充実が重要であり、精神科での活動を開始。今後、ニーズ把握に努め、場づくりや人材育成を検討する。  
【その他】ひきこもりへの支援、高齢者の孤立防止と居場所づくりなど

### 4：学校と社会を結び生涯学習社会への基盤づくりについて

◆学校改築が進み、学用品の学校備品化などの保護者負担の軽減が実施される一方、変化が大きい社会を生き抜くため、生涯にわたって学び続ける力を得るための生涯学習の体制整備が重要になっています。

**かわごえ** 生涯学習社会について教育長の考えをうかがう。

**教育長** 教育はあらゆる世代と、学校教育・家庭教育・地域教育・社会教育などあらゆる教育が関連している。必要な時に学べる仕組みづくり、多様な学びの機会の充実など生涯学び続けられる環境を整備する。

**かわごえ** コミュニティ・スクールを進める上で、学校教育と社会教育を踏まえた専門的な支援が必要だ。

**教育長** コミュニティスクールは学校運営への地域参画や協働での課題解決が重要。指導主事、社会教育主事が必要不可欠で組織的に支援する。

**かわごえ** 総合教育センターには福祉的な職員の配置やスクールソーシャルワーカーを統括する体制整備が必要だ。

**学校教育担当部長** 子どもの貧困・児童虐待など課題が多様化しており福祉専門職の配置の検討を進める。また、係長・指導主事による調整など組織的なスクールソーシャルワーカー統括体制を整備する。

**かわごえ** 多様化する子どもの課題に対応するため、校内居場所カフェなど学校外の多様な関係者との連携を進める自治体があるが、学校を活用した子どもの居場所づくりを進める必要があるがどうか。

**教育次長** 多様な子どもの課題に対応するために関係団体と連携することは重要だ。課題を整理し先行自治体の事例を研究する。

【その他】次期学習指導要領とインクルーシブ教育の取組み、チャレンジプログラムの探求的な学びを追求するコース、学校司書の活用方針、校長の学校図書館長としての位置づけについてなど

問合せ  
連絡先

ご意見・ご要望をお寄せ下さい。かわごえ誠一 web → <https://www.kawagoeseiichi.com>

かつしか区民連合

〒124-0012 葛飾区立石 5-13-1 葛飾区議会内

電話 03-3695-1111 (代)

FAX 03-3697-0137

かわごえ誠一連絡先・問合せ先

〒124-0012 葛飾区立石 8-47-18

携帯電話 090-2932-7315

e-mail [info@kawagoeseiichi.com](mailto:info@kawagoeseiichi.com)

